

主要農作物品種審査会

日 時：令和6年9月18日（水）
午後1時30分から午後3時まで
会 場：県行政庁舎4階 特別会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 報告事項
（1）令和5年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について
- 5 審議事項
（1）令和6年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について
（2）特定品種から基幹品種への移行を検討する品種（麦類）について
- 6 そ の 他
（1）令和6年度優良品種決定調査に供している品種（稲）について
- 7 閉 会

【配布資料】

- 資料1 主要農作物品種審査会資料
- 資料2 参考資料
- 資料3 製麺適性評価試験 試験方法
- 資料4 令和5年度麦類優良品種決定調査結果（パワーポイント資料）
- 資料5 令和6年度麦類優良品種決定調査に供する品種について（パワーポイント資料）
- 資料6 令和6年度優良品種決定調査に供している品種（稲）について

出席者名簿

【委員】

役職	氏名	所属及び職名	出欠
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科 教授	出席
副会長	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長	欠席
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事	出席
委員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系 准教授	欠席
委員	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群 准教授	出席
委員	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長	出席
委員	石川 宣子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	出席
委員	大崎 早苗	宮城県農業士会 宮城県指導農業士	出席
委員	阿部 祐子	仙台市経済局農林部農業振興課 課長	出席
委員	常陸 孝一	宮城県農政部 副部長（技術担当）	出席

【幹事】

役職	氏名	所属及び職名
幹事	關口 道	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹事	佐藤 潤一	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
幹事	門間 陽一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
幹事	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
幹事	小高 勝範	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

【事務局等】

役職	氏名	所属及び職名
助言者	伊藤 清	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部 次長
助言者	西條 和彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部 原種生産チーム 主任研究員
事務局	佐々木 崇	宮城県古川農業試験場 作物栽培部 大豆・麦チーム 技師
事務局	伊藤 晋	宮城県農政部みやぎ米推進課 技術副参事兼総括課長補佐
事務局	増岡 直史	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（班長）
事務局	佐藤 直紀	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主査（副班長）
事務局	石森 裕貴	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主査

令和 6 年度

主要農作物品種審査会資料

令和 6 年 9 月

宮 城 県

目 次

◎ 知事からの諮問	2
◎ 報告事項	
(1) 令和5年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について	4
◎ 審議事項	
(1) 令和6年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について	11
(2) 特定品種から基幹品種への移行を検討する品種（麦類）について	16



みや米第317号

令和6年8月28日

主要農作物品種審査会会長 殿

宮城県知事 村井 嘉浩



優良品種の指定等について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

諮問内容

- 1 令和6年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について
- 2 特定品種から基幹品種への移行を検討する品種（麦類）について

担当 農政部みやぎ米推進課

生産販売班 佐藤直紀

TEL：022-211-2841 FAX：022-211-2849

E-mail：miyamai-se@pref.miyagi.lg.jp

報告事項

(1) 令和5年度優良品種決定調査に供した品種(麦類)について

令和5年度(令和6年産)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):大麦

○ 要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

表1 令和5年度(令和6年産)優良品種決定調査成績一覧(大麦)

供試系統	供試年数	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)			容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概 評	
										シュンライ	ミノリムギ	ホワイトファイバー							長所	短所
北陸皮72号	本2 予1	4.17	5.29	86.5	4.8	452	0.0	0.0	59.1	151	151	-	675	36.4	2.0	43.2	51.2	×	収量が優る →打ち切り	硝子率が高い
北陸皮78号	本1 予1	4.17	5.30	92.1	4.3	435	0.0	0.0	61.8	158	158	-	647	37.3	2.0	8.3	52.2	△	収量が優る 硝子率が低い →年次変動確認のため再検討	
(標)シュンライ		4.16	5.28	84.0	4.0	561	0.0	0.0	39.2	100	100	-	657	33.9	2.5	22.5	49.8			
(比)ミノリムギ		4.19	5.30	97.9	4.2	540	1.0	0.0	39.2	100	100	-	672	33.8	4.0	29.3	54.9			
東山皮糯120号	本2 予1	4.15	5.28	93.3	4.2	522	0.0	0.0	45.6	-	-	88	684	33.7	3.0	14.5	49.4	×	収量が劣る。 →打ち切り	
東山皮糯121号	本1 予1	4.19	5.30	95.8	4.2	543	0.0	0.0	60.2	-	-	116	678	34.1	2.0	11.5	49.4	△	収量が優る。 →年次変動確認のため再検討	
東山皮糯122号 (篩目2.0mm上)	予1	4.18	5.30	92.4	4.2	530	0.0	0.0	25.5	-	-	38	650	29.5	5.0	10.3	42.2	×	収量が劣る。 出芽がやや悪い。 外観が悪い。 →打ち切り	
北陸皮糯81号	予1	4.18	5.29	88.0	3.8	570	0.0	0.0	49.8	-	-	96	653	33.4	3.0	6.2	53.0	△	硝子率が低く、 白度も高い。 →年次変動確認のため再検討。	
(標)ホワイトファイバー		4.16	5.28	89.3	4.3	482	0.0	0.0	52.0	-	-	100	671	32.8	2.0	13.5	49.4			
(標)ホワイトファイバー (篩目2.0mm上)									67.4	-	-	-	665	30.9						

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表わす。

注2) 倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注4) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注5) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)

注6) 篩目2.3mm上

耕種概要等(追肥以外は大麦・小麦共通)

播種月日	令和5年10月17日
播種方法	ドリル播き(シーターテープ)条間25cm 220粒/m ² (約0.9kg/a)
基肥(aあたり)	尿素燐加安777 窒素: 0.8kg 燐酸: 0.8kg 加里: 0.8kg
追肥(aあたり)	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.25kg(大麦)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.25kg(小麦めん用)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.5kg(小麦パン用)
実施場所及び圃場条件	古川農業試験場D18ほ場(田畑輪換ブロック)灰色低地土
試験面積	1区10m ² (4m×2.5m) 2反復

大麦ランク区分

用途	評価項目	基準値	許容値
主食用等	容積重	690g/L以上	—
	細麦率	2.2mm篩下に2.0%以下	—
	白度	43以上 基準歩留:55% 農産物検査時から1か月以上経過したサンプル	40以上
	硝子率	40%以下	50%以下

*経営安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

令和5年度(令和6年産)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):大麦

○ 要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

表2 令和5年度(令和6年産)優良品種決定調査成績一覧(大麦)

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重 対照比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	有望 度	概 評	
										小春二条					長所	短所
東北二条51号	予1	4.21	5.31	81.7	5.1	418	0.0	0.0	70.0	104	729	48.4	3.0	△	千粒重、容積重が大きい	外観に色ムラがある
(標)小春二条		4.22	5.31	84.3	5.2	457	1.0	0.0	67.3	100	709	43.2	2.0		→年次変動確認のため再検討	

注1) 供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表わす。

注2) 倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注4) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注5) 有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)

注6) 篩目2.3mm上

耕種概要等(追肥以外は大麦・小麦共通)

播種月日	令和5年10月17日
播種方法	ドリル播き(シーダーテープ)条間25cm 220粒/m ² (約0.9kg/a)
基肥(aあたり)	尿素燐加安777 窒素: 0.8kg 燐酸: 0.8kg 加里: 0.8kg
追肥(aあたり)	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.25kg(大麦)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.25kg(小麦めん用)
	硫安 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.5kg(小麦パン用)
実施場所及び圃場条件	古川農業試験場D18ほ場(田畑輪換ブロック)灰色低地土
試験面積	1区10m ² (4m×2.5m) 2反復

表3 大麦供試系統の歴年成績
北陸皮72号(シュンライ対照)

供試系統	試験年次	出穂期(月.日)	成熟期(月.日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	標準対比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	硝子率(%)	精麦白度	有望度	概評
北陸皮72号	R3	4.26	6.05	93.7	3.9	430	3.7	0.0	58.9	109	733	41.0	3.5	37.4	44.1	△	・出穂期は1日遅く、成熟期は同程度。 ・容積重・千粒重は大きく、収量は優る。 ・精麦白度、硝子率ともにシュンライと同等～劣ることから打ちきりとする。
	R4	4.16	6.03	96.3	4.6	554	0.0	0.0	73.8	108	707	38.9	3.0	38.3	46.9	△	
	R5	4.17	5.29	86.5	4.8	452	0.0	0.0	59.1	151	675	36.4	2.0	43.2	51.2	×	
	平均	4.20	6.02	92.2	4.4	479	1.2	0.0	63.9	123	705	38.8	2.8	39.6	47.4		
(標)シュンライ	R3	4.23	6.04	92.1	4.1	433	3.1	0.0	54.0	100	683	36.1	4.5	48.8	48.2		
	R4	4.18	6.03	94.7	4.1	515	0.0	0.0	68.2	100	685	38.0	3.0	37.6	48.2		
	R5	4.16	5.28	84.0	4.0	561	0.0	0.0	39.2	100	657	33.9	2.5	22.5	49.8		
	平均	4.19	6.02	90.3	4.1	503	1.0	0.0	53.8	100	675	36.0	3.3	36.3	48.7		

北陸皮78号(ミノリムギ対照)

供試系統	試験年次	出穂期(月.日)	成熟期(月.日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	標準対比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	硝子率(%)	精麦白度	有望度	概評
北陸皮78号	R4	4.19	6.05	93.2	4.6	478	0.0	0.0	77.7	126	689	41.3	2.0	29.1	47.0	△	・出穂期は3日早く、成熟期は同等。 ・容積重・千粒重は大きく、収量は優る。 ・硝子率が低い
	R5	4.17	5.30	92.1	4.3	435	0.0	0.0	61.8	158	647	37.3	2.0	8.3	52.2	△	
	平均	4.18	6.02	92.7	4.5	457	0.0	0.0	69.8	142	668	39.3	2.0	18.7	49.6		
(標)ミノリムギ	R4	4.22	6.06	102.6	4.4	508	0.0	0.0	61.8	100	717	37.6	3.0	35.5	48.5		
	R5	4.19	5.30	97.9	4.2	540	1.0	0.0	39.2	100	672	33.8	4.0	29.3	54.9		
	平均	4.21	6.03	100.3	4.3	524	0.5	0.0	50.5	100	695	35.7	3.5	32.4	51.7		

東山皮糯120号(ホワイトファイバー対照)

注3)外観品質 1:上の上, 2:上の下, 3:中の上, 4:中の中, 5:中の下, 6:下

供試系統	試験年次	出穂期(月.日)	成熟期(月.日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	標準対比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	硝子率(%)	精麦白度	有望度	概評
東山皮糯120号	R3	4.25	6.06	96.5	4.3	424	2.8	0.0	57.3	92	726	37.8	3.5	24.5	51.4	△	・出穂期は1日早く、成熟期は同程度 ・容積重・千粒重は大きい、収量は劣る。 ・精麦白度、硝子率ともにホワイトファイバー同等、また外観品質が劣ることから打ちきりとする。
	R4	4.21	6.05	97.1	4.7	492	0.0	0.0	69.2	94	698	37.7	4.0	21.4	52.2	△	
	R5	4.15	5.28	93.3	4.3	520	0.0	0.0	45.6	88	684	33.7	3.0	14.5	49.4	×	
	平均	4.20	6.03	95.6	4.4	479	0.9	0.0	57.4	91	703	36.4	3.5	20.1	51.0		
(標)ホワイトファイバー	R3	4.26	6.06	96.5	4.2	463	2.8	0.0	62.3	100	711	37.2	3.5	29.3	51.4		
	R4	4.20	6.05	99.6	4.5	628	0.0	0.0	73.9	100	692	35.4	3.0	20.5	51.3		
	R5	4.16	5.28	95.8	4.2	543	0.0	0.0	52.0	100	671	32.8	2.0	13.5	49.4		
平均	4.21	6.03	97.3	4.3	545	0.9	0.0	62.7	100	691	35.1	2.8	21.1	50.7			

東山皮糯121号(ホワイトファイバー対照)

供試系統	試験年次	出穂期(月.日)	成熟期(月.日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	標準対比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	硝子率(%)	精麦白度	有望度	概評
東山皮糯121号	R4	4.23	6.05	98.6	4.4	525	0.0	0.0	65.4	88	700	38.2	3.0	21.3	51.5	△	・出穂期は3日遅い。 ・千粒重が大きい。 ・硝子率、精麦白度は同等。
	R5	4.19	5.30	95.8	4.2	543	0.0	0.0	60.2	116	678	34.1	2.0	11.5	49.4	△	
	平均	4.21	6.02	97.2	4.3	534	0.0	0.0	62.8	102	689	36.2	2.5	16.4	50.5		
(標)ホワイトファイバー	R4	4.20	6.05	99.6	4.5	628	0.0	0.0	73.9	100	692	35.4	3.0	20.5	51.3		
	R5	4.16	5.28	95.8	4.2	543	0.0	0.0	52.0	100	671	32.8	2.0	13.5	49.4		
	平均	4.18	6.01	97.7	4.3	586	0.0	0.0	62.9	100	682	34.1	2.5	17.0	50.4		

注1)倒伏の多少 0:無, 1:少, 2:中, 3:多, 4:甚

注2)赤かび病および穂発芽の発生程度 0:無, 1:微, 2:少, 3:中, 4:多, 5:甚

注3)外観品質 1:上の上, 2:上の下, 3:中の上, 4:中の中, 5:中の下, 6:下

注4)有望度 ◎:ごく有望, ○:有望, △:再検討, ×:打ち切り, ※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)

令和5年度(令和6年産)優良品種決定調査成績一覧(古川農業試験場):小麦

○ 要望される品種

シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。
夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

表4 令和5年度(令和6年産)優良品種決定調査成績一覧(小麦)

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 (%)	有望 度	概評	長所	短所
										シラネ	夏黄金								
東北238号	本3 予1	4.26	6.15	75.1	9.0	399	0.0	0.0	66.6	114	-	847	44.0	3.0	11.1	※	収量が優る。 縞萎縮病への抵抗性(現地 データ) →打ち切り		
東山63号	本1 予1	4.22	6.12	71.2	8.7	518	0.0	0.0	64.7	111	-	855	51.1	2.0	10.1	○	出穂期、成熟期が4日早い。 収量が優る。 外観が良い →縞萎縮抵抗性が強で有望視		
東山64号	予1	4.25	6.15	67.8	8.1	377	0.0	0.0	60.1	103	-	846	45.6	3.0	12.5	△	出穂期、成熟期が1日早い。 →年次変動確認のため再検討		
(標)シラネコムギ		4.26	6.16	77.5	7.0	443	0.0	0.0	58.2	100	-	857	46.0	3.0	12.5				
(比)あおばの恋		4.19	6.10	73.5	7.5	560	0.0	0.0	61.2	105	-	855	43.3	3.0	11.3				
東山62号	予1	4.25	6.14	79.9	7.2	572	0.0	0.0	57.0	-	117	863	43.1	3.0	15.1	△	出穂期は1日早い 成熟期が2日早い。 収量が優る。 →年次変動確認のため再検討		
(標)夏黄金		4.26	6.16	73.6	8.1	459	0.0	0.0	48.6	-	100	856	43.1	2.0	15.8				

注1) 供試年数の「本」は本調査, 「予」は予備調査を表わす。

注2) 倒伏の多少 0: 無, 1: 少, 2: 中, 3: 多, 4: 甚

注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0: 無, 1: 微, 2: 少, 3: 中, 4: 多, 5: 甚

注4) 外観品質 1: 上の上, 2: 上の下, 3: 中の上, 4: 中の中, 5: 中の下, 6: 下

注5) 有望度 ◎: ごく有望, ○: 有望, △: 再検討, ×: 打ち切り, ※: 中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)

注6) 篩目2.4mm上

要望される小麦のたん白含量(%)

	軟質	中間質	硬質
たん白含量	9~10	10~11	13~14
主な用途	菓子	うどん	パン・中華めん

* 令和5年度東日本地域麦類育成系統立毛検討会資料「実需者からの要望」より

品質評価基準(小麦)

用途	評価項目	基準値	許容値
日本めん用	たんぱく	9.7%以上11.3%以下	8.5%以上12.5%以下
	灰分	1.60%以下	1.65%以下
	容積重	840g/L以上	—
	フォーリングナンバー	300以上	200以上
パン・中華めん用	たんぱく	11.5%以上14.0%以下	10.0%以上15.5%以下
	灰分	1.75%以下	1.80%以下
	容積重	833g/L以上	—
	フォーリングナンバー	300以上	200以上

*経営安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

表5 小麦供試系統の歴年成績

①東北238号（シラネコムギ対照）

供試系統	供試年度	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重 対照比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 (%)	有望 度	概評
東北238号	R2	5.03	6.19	80.8	9.6	346	0.6	0.0	59.3	121	831	40.1	3.0	11.8	○	・出穂期、成熟期は2日早い ・穂数は少ないが、穂長は長い。 ・収量は優る ・製めん性はシラネコムギと同等以上(R4~R5年度産)。
	R3	5.05	6.20	83.8	8.8	398	0.0	0.0	68.0	120	853	43.4	3.0	11.1	△	
	R4	4.27	6.18	84.4	9.3	442	0.0	0.0	64.1	106	851	43.1	4.0	11.8	△	
	R5	4.26	6.15	75.1	9.0	399	0.0	0.0	66.6	114	847	40.0	3.0	11.1	※	
	平均	4.30	6.18	81.0	9.2	396	0.2	0.0	64.5	115	846	41.7	3.3	11.5		
(標)シラネコムギ	R2	5.04	6.22	82.6	7.5	405	1.6	0.0	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0		
	R3	5.05	6.21	83.2	7.4	424	2.5	0.0	56.7	100	852	44.5	3.0	12.5		
	R4	4.27	6.19	83.6	7.4	502	0.0	0.0	60.7	100	845	43.1	3.0	13.0		
	R5	4.26	6.16	77.5	7.0	443	0.0	0.0	58.2	100	857	46.0	3.0	12.5		
	平均	5.01	6.20	81.7	7.3	444	1.0	0.0	56.2	100.0	844	43.7	3.3	12.8		

②東山63号（シラネコムギ対照）

供試系統	供試年度	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重 対照比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 (%)	有望 度	概評
東山63号	R4	4.25	6.18	75.8	8.6	465	0.0	0.0	58.3	96	848	45.9	3.0	10.6	△	・出穂期は3日早く、成熟期は3日早い。 ・千粒重が大きい。 ・製めん性はシラネコムギより優れる(R5年度産)。
	R5	4.22	6.12	71.2	8.7	518	0.0	0.0	64.7	111	855	51.1	2.0	10.1	○	
	平均	4.24	6.15	75.8	8.7	492	0.0	0.0	61.5	104	852	48.5	2.5	10.4		
(標)シラネコムギ	R4	4.27	6.19	83.6	7.4	502	0.0	0.0	60.7	100	845	43.1	3.0	13.0		
	R5	4.26	6.16	77.5	7.0	443	0.0	0.0	58.2	100	857	46.0	3.0	12.5		
	平均	4.27	6.18	80.6	7.2	473	0.0	0.0	59.5	100	851	44.6	3.0	12.8		

注1)倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注2)赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注3)外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

注4)有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(中止は有望度としては○や△であるが、諸般の事情で供試を止める場合を示す)

注5)篩目2.4mm上

表6 現地調査における系統の有望度

系統名	担当普及 センター	有望度	
大麦 「北陸皮78号」	大河原	×	打ち切り
	石巻	△	再検討
小麦 「東北238号」	美里	○	有望
	登米	○	有望

審議事項

(1) 令和6年度 麦類優良品種決定調査に供する品種について (案)

イ 要望される品種

①大麦：「ミノリムギ」、「シュンライ」と比較して収量、品質が同等以上であり、かつ精麦白度が高く、加工時の碎粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

②小麦：「夏黄金」と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として、加工適性が優れるもの。

「シラネコムギ」と比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

ロ 供試品種及び系統

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
大麦	うるち	東山皮123号 北陸皮79号	北陸皮78号 (2)	
		(標) シュンライ (比) ミノリムギ	(標) シュンライ (比) ミノリムギ	
	もち		東山皮糯121号 (2) 北陸皮糯81号 (1)	東山皮糯121号 (1)
			(標) ホワイトファイバー	(標) ホワイトファイバー
	醸造		東北二条51号 (1)	
			(標) 小春二条	
計		2	4	1

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
小麦	めん	東北241号	東山63号 (2) 東山64号 (1)	東山63号 (1)
		(標) シラネコムギ	(標) シラネコムギ (比) あおばの恋	(標) シラネコムギ
	パン・中華めん		東山62号 (1)	
			(標) 夏黄金	
計		1	3	1

注 1) 品種及び系統名右側の()内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。

ハ 令和6年度 麦類優良品種決定調査供試系統(案) 特性一覧

②大麦予備調査

系統名	組み合わせ	用途	特性の概要
東山皮 123号		精麦	<p>◆育成地における成績(シュンライ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性で播性はIV。 ・出穂期、成熟期は1日早い。 ・稈長は長く、穂長は同等で、穂数は多い。多収。 ・容積重はやや大きく、千粒重は同等。外観品質はやや優れる。 ・耐寒性、耐雪性は強。オオムギ縞萎縮病抵抗性はI+III型、II型ともに極強、オオムギ萎縮病抵抗性はやや強。 ・穂発芽性は中。 ・硝子率は低く、白度はやや低い。 ・βグルカン含有率は約5.0%で同等。
北陸皮 79号		精麦	<p>◆育成地における成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・fra 遺伝子を持つ低硝子・多収系統。 ・うどんこ病抵抗性 Mla9、縞萎縮病抵抗性 rym3 を有する。 ・実需者の成績が良好

②大麦本調査

系統名	組み合わせ	用途	特性の概要
北陸皮 78号	東北皮 43号・東山皮糯 109号/関東皮 96号	精麦	<p>◆育成地における成績(ファイバースノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性で播性IVの秋播き型。 ・破碎でんぷん粒遺伝子 fra をもち、硝子率がかなり低い。 ・出穂期は1日早く、成熟期は2日遅い。 ・穂長は同程度、稈長は短く、穂数は少ない。 ・収量はやや少なく、整粒歩合は大きい。容積重はやや小さく、千粒重は大きい。 ・うどんこ病の発病程度はわずかに少なく。耐雪性はやや弱い。穂発芽性は同程度である。 ・搗精時間は長く、精麦白度はやや低い。空洞麦率は高めである。 <p>原麦粗タ ンパク含量、原麦βグルカン含量は同程度である。</p> <p>◇本県における優良品種決定調査成績(ミノリムギ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は2~3日早い、成熟期は同等。 ・収量が優る。 ・千粒重が大きい。 ・硝子率が低い。

東山皮糯 121号	東山皮糯 109 号／ファイバ ースノウ	精麦 (糯)	<p>(ホワイトファイバーの改良版)</p> <p>◆育成地における成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度はV。出穂期は2日遅く、成熟期は同程度。 ・稈長はやや長く、穂長は同程度。穂数はやや少ない。 ・収量は同等。・容積重・千粒重はやや大きく、外観品質は同等。 ・耐寒性は「やや強」でやや優れ、耐雪性は「中」で同等。 ・オオムギ縞萎縮病抵抗性は、I+Ⅲ型、Ⅱ型共に「極強」、オオムギ萎縮病抵抗性は「やや強」であり、いずれも「ホワイトファイバー」より優れる。 ・硝子率はやや低く、精麦時間は短い。白度は高い。 ・アミロース含量は同等。・β-グルカン量はやや低い。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績(ホワイトファイバー比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は3日遅い。成熟期は同程度。 ・硝子率、精麦白度は同程度。
北陸皮糯 81 号	ゆきはな六条 //北陸皮 54 号×はねうまも ち	精麦 (糯)	<p>◆育成地における成績(はねうまもち比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並性で播性Ⅲの秋播き型。 ・出穂期は3日早く、成熟期は1日早い。 ・穂長はやや短く、稈長は短く、穂数はやや多い。 ・収量は同程度、整粒歩合は大きい。容積重はやや小さく、千粒重はやや大きい。 ・うどんこ病に抵抗性があり、耐雪性はやや弱い。穂発芽性は同程度である。 ・搗精時間は同程度で精麦白度が高い。空洞麦は低めである。原麦β-グルカン含量は同程度である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績(ホワイトファイバー比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は3日早い、成熟期は1日早い。 ・収量が優る。 ・千粒重が大きい。 ・硝子率が低い。
東北二条 51 号	関東二条 43 号/小春二条	醸造	<p>◆育成地における成績(小春二条比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性はV。出穂期が1日早く、成熟期が同等か1~2日早いやや早生種である。 ・稈長は「小春二条」より短く、穂長は同程度、穂数は多い。 ・収量はドリル播と条播ともに多収である。 ・千粒重と容積重と整粒歩合が大きく、外観品質もやや優れる。 ・耐雪性は「小春二条」と同等かやや弱く、穂発芽性は“易”で「小春二条」よりやや劣る。 ・うどんこ病抵抗性は“強”で「小春二条」より優れ、縞萎縮病はⅠ型には強く、Ⅱ型にはやや強で「小春二条」より優れる。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績(小春二条比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は1日早い、成熟期は同等。 ・容積重、千粒重が大きい。

③小麦予備調査

系統名	組み合わせ	用途	特性の概要
東北 241 号	しゅんよう/厨系 D-B356-5-2	めん	<p>◆育成地における成績(ネバリゴシ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性はⅣ、出穂期は4日早く、成熟期は同程度の早生系統。 ・稈長は低いが穂長が長く、穂数は同程度。 ・耐雪性はやや弱、穂発芽性は難。 ・縞萎縮病抵抗性はやや強、赤さび抵抗性は強。 ・収容は同程度、容積重と千粒重が大きく、外観がやや優れる。 ・軟質小麦で比表面積は同程度、製粉歩留、未リングスコア、灰分移行率は優れる、 ・製麺適性において粘弾性は劣るが、色の評価が高い。 <p>◇本県における系統適応性試験調査成績(シラネコムギ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は2～3日遅く、成熟期は1日早い。 ・容積重が大きく。外観が優れる

④小麦本調査

系統名	組み合わせ	用途	特性の概要
東山 63 号	長交小 2170・東海 105 号/しゅんよう	めん	<p>◆育成地における成績(しゅんよう比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅳ、紡錘状態の有芒種。ふ色は淡黄(白ふ)である。 ・出穂期は3日早く、成熟期は2日早く、シラネコムギと同等。 ・稈長・穂長はやや短く、穂数はやや少ない。倒伏は同等。 ・収量はやや多収、容積重は同等。千粒重は明らかに大きく、外観品質は優れる。 ・耐寒性「やや強」、耐雪性「やや強」であり、ほぼ同等。穂発芽性は「難」であり、同等である。 ・育成地におけるコムギ縞萎縮病抵抗性は「強」でほぼ同等である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績(シラネコムギ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は2日、成熟期は1日早い。 ・収量はやや劣る。 ・容積重は同程度で千粒重が大きい。
東山 64 号	長交小 2199・ユメセイキ/東北 230 号	めん	<p>◆育成地における成績(ユメセイキ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅴ、紡錘状穂の有芒種、ふ色は黄色(白ふ)。 ・出穂期は2日早く、成熟期は1日早い ・稈長・穂長・穂数及び倒伏は「ユメセイキ」とほぼ同等である。 ・縞萎縮病抵抗性は「強」。耐寒性「強」、耐雪性「やや強」。 ・収量はやや多収、容積重・千粒重は同程度。

			<ul style="list-style-type: none"> ・アミロース含有率は「ユメセイキ」より高い”やや低アミロース”タイプ(Wax-B1b)である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績(シラネコムギ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期、成熟期は1日早い ・収量は同程度、容積重は小さく、千粒重は同程度。
東山 62 号	長交小 2135・ゆめかおり//東山 42 号/銀河のちから	パン	<p>◆育成地における成績(ゆめかおり比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播性程度Ⅳ、紡錘状穂の有芒種、ふ色は淡黄である。 ・出穂期は3日遅い。成熟期は2日遅い。 ・稈長はやや短い。穂長はやや長い。穂数はやや少ない。倒伏は同等である。 ・収量は多収である。容積重はやや小さい。千粒重は小さい。外観品質は同等である。 ・耐寒性「やや強」、耐雪性「中」である。穂発芽性は「難」である。 ・育成地におけるコムギ縮萎病抵抗性は「強」である。 ・製粉歩留及びミリングスコアは高い。 ・60%粉の蛋白質含量はやや低い。 <p>粉の色の明度(L*)は、加熱前は同等で加熱後はやや高い。赤み(a*)は加熱前及び加熱後ともに低く、黄色み(b*)は加熱前及び加熱後ともに同等である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常アミロースタイプである。 ・ファリノグラムの吸水率は低い。バリロメータバリュウ(V.V.)は同等である。 <p>◇本県における優良品種決定調査成績(夏黄金比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は1日早く、成熟期が2日早い。 ・収量が優る。

(2) 特定品種から基幹品種への移行を検討する品種(麦類)について(案)

大麦品種「ホワイトファイバー」は、糯種であり、機能性成分であるβグルカン含有率が高いことから、機能性表示を行う製品の原料として使用されることが見込まれ、平成28年に優良品種に採用された。当時想定された普及見込み面積は150haで、特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種であることから、特定品種に区分することとした。

その後、「ホワイトファイバー」は令和元年産から一般作付けが開始された。もち麦について健康志向の高まりから需要は年々増加し、それに対応するように「ホワイトファイバー」の作付面積は毎年増加している。その結果、令和4年産からは既存の基幹品種である「シュンライ」や「ミノリムギ」を上回る作付面積となっている(表1)。また、「ホワイトファイバー」について実需者からの購入希望数量は販売予定数量を上回る状況が今後も続く見込まれ、作付面積も拡大する計画となっている(表2)。このように、「ホワイトファイバー」は県内麦作において生産・流通対策上、基幹となる品種と言える状況となっている。

このことから、宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)の2(1)に従い、「ホワイトファイバー」は特定品種のうち、生産・流通対策上、特に必要とされるものと考えられることから、基幹品種への移行を検討する。

表1 主要品種の作付動向(大麦)

年産	作付面積 (ha)	ミノリムギ		シュンライ		ホワイトファイバー		その他	
		S44採用～		H3採用～		H28採用～		-	
		面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)
令和元	1,160	290	25.0	660	56.9	179	15.4	31	2.7
2	1,160	211	18.2	675	58.2	247	21.3	27	2.3
3	1,280	275	21.5	527	41.2	431	33.7	47	3.7
4	1,410	295	20.9	495	35.1	569	40.4	51	3.6
5	1,450	262	18.1	505	34.8	648	44.7	36	2.5

注)各品種の作付面積は、農林水産省「作物統計」(面積)とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率(播種状況調査)を基に算出。

表2 主要品種の今後の見通し(大麦)

(単位:面積(ha)、数量(トン)、割合(%))

銘柄	令和7年産				令和8年産				
	作付面積	販売予定数量 (A)	購入希望数量 (B)	過不足 (A-B)	作付面積	生産計画 (C)	増減 (C-A)	増減率 (C/A)	増減数量 (C-B)
シュンライ	488	1,144	1,420	▲276	539	1,264	120	110	156
ミノリムギ	224	620	260	360	179	496	▲124	80	▲236
ホワイトファイバー	713	2,065	2,860	▲795	788	2,281	216	110	579
その他	10	20	10	10	0	0	▲20	0	10
計	1,435	3,848	4,550	▲702	1,506	4,040	212	105	▲500

民間流通地方連絡協議会(令和6年7月25日開催)資料より

参考資料

目 次

I	宮城県優良品種決定基準	2
II	宮城県主要農作物優良品種区分基準	3
III	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	4
IV	宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分	5
V	優良品種決定調査の方法 (宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))	6
VI	宮城県優良品種決定調査方法	7
VII	主要農作物種子条例	9
VIII	主要農作物品種審査会構成員名簿	11
IX	優良品種特性表(水稻)	12
X	優良品種特性表(大豆)	13
X I	優良品種特性表(麦類)	14
X II	水稻優良品種の年次別作付面積	15
X III	大豆優良品種の年次別作付面積	16
X IV	麦類優良品種の年次別作付面積	17

I 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し，既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし，優良品種に採用しようとする品種が，普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて，対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し，1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し，重大な欠点が明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し，今後とも増加の見通しがない場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

Ⅱ 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和2年9月18日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稻・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の2区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。

(1) 基幹品種

生産・流通対策上、基幹となる品種

(2) 特定品種

基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和2年9月18日決定)「優良品種の採用基準」1に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種

イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種

ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種

エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種

オ 暫定的に普及が望まれる品種

Ⅲ 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稲・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

1 すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて

過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。

なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稲	麦 類	大 豆
200ha	100ha	100ha

2 基幹・特定品種の移行について

(1) 特定品種から基幹品種への移行について

特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。

(2) 基幹品種から特定品種への移行について

基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面 積	備 考
水 稲	200ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	200ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	300ha	1銘柄販売ロット500t以上

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稲	麦 類	大 豆
100ha	50ha	50ha

4 その他

上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。

IV 宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分

1 水稻

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ, ササニシキ, まなむすめ, だて正夢	トヨニシキ, げんきまる, 東北194号, 金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ, つや姫
も ち	みやこがねもち	ヒメノモチ, こもちまる
特 殊 用途米	蔵の華(酒造好適米)	たきたて(低アミロース米)

2 麦類

(1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ, 夏黄金	あおばの恋

(2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ	ホワイトファイバー
中 生	ミノリムギ	—

3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ, あやこがね	すずほのか, タチナガハ, きぬさやか, すずみのり
晩 生	ミヤギシロメ	—

V 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))

1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設けた場合には、この限りではない。

稲及び大豆 12月末日

麦類 7月末日

2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年目以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

(1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

(2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

VI 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

- 1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟耐性, 耐倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類	農作物の種類	区制		耕種法の種類
		1区面積	区数	
基本調査	予備	稲	6㎡以上	2区以上 作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本県に最も普及している耕種様式により調査を行う。
	調査	麦類	10㎡以上	
		大豆	12㎡以上	
現地調査	本調査	稲	6㎡以上	3区以上 作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本県に最も普及している耕種様式を原則として複数用いて調査を行う。
		麦類	10㎡以上	
		大豆	12㎡以上	
現地調査	現地調査	稲	20㎡以上	2区以上 作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 優良品種適応地域ごとに最も普及している耕種様式により調査を行う。
		麦類		
		大豆		

3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調査の項目
基本調査	予備調査	<p>1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 茎長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p>
	本調査	<p>1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味</p> <p>2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質</p> <p>3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質</p>
現地調査		<p>1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。</p>

Ⅶ 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第 59 号]

第三章 主要農作物品種審査会

(設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

(所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

(組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二条 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三条 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四条 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

Ⅷ 主要農作物品種審査会構成員名簿 (令和6年9月)

役職名	氏名	所属及び職名
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
〃	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委員	大川 亘	尚綱学院大学総合人間科学系理工・自然部門 准教授
〃	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群食資源開発学類 准教授
〃	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長
〃	石川 宣子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会 宮城県指導農業士
〃	阿部 祐子	仙台市経済局農業振興課 課長
〃	常陸 孝一	宮城県農政部 副部長 (技術担当)
幹事	關口 道	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
〃	佐藤 潤一	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
〃	門間 陽一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
〃	小高 勝範	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

IX 水稻優良品種特性表

種類	早晩性	品種名	育成年次	採用年次	出穂期	成熟期	穂長	穂長	種数	草型	穂数	穂長	穂長	穂重	精米率	玄米重量	粒形(mm)			食味	特性概要	栽培適地
																	長さ	幅	厚さ			
うるち	早生	やまのしずく	中部04号(成ひびき)×こころまち(宮城県古川農試、平19)	基幹19	7/30	9/5	79.2	18.3	471	優	難	や	や	強	や	強	や	強	や	強	上品質、食味、耐冷性は強、いもち病に強い。	西部丘陵地帯、三陸沿岸地帯及び山間高冷地帯
	中生	ササニシキ	奥羽224号(ハツニシキ)×ササシグレ(宮城県古川農試、昭38)	基幹38	8/3	9/17	84.1	18.1	532	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	食味、耐冷性は弱、耐病性は弱、耐病性は弱で、いもち病に強い。	平野地帯
うるち	中生	トヨニシキ	東北78号(ササニシキ)×奥羽239号(東北農試、昭44)	特定期49	8/3	9/14	85.2	18.9	463	中	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	強靱。良品質。いもち病に強い。	平野地帯
	うるち	ひとめぼれ	コシヒカリ×初重(宮城県古川農試、平3)	基幹3	8/4	9/11	82.5	18.3	508	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	良品質、食味、耐冷性は強、粘りや少な。	平野地帯
うるち	中生	まなむすめ	チヨニシキ×東北14号(ひとめぼれ)(宮城県古川農試、平9)	基幹9	8/3	9/10	79.4	18.7	438	中	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	耐冷性はやや強、強靱で耐病性はやや強。優良食味、いもち病に強い。	平野地帯及び西部丘陵地帯、三陸沿岸地帯の高冷地の低い地
	晩生	東北194号	ササニシキ×ひとめぼれ(宮城県古川農試、平成23)	特定期25	8/4	9/14	81.7	18.4	527	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	ササニシキの食味を継承し、食味、耐冷性はやや強、いもち病に強い。	北部・南部平野地帯、山間高冷地
うるち	晩生	やげんきまる	北陸188号×東北152号(まなむすめ)(宮城県古川農試、平21)	特定期22	8/7	9/17	83.1	19.4	367	中	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	地力が高いほ場では多収が期待できる。強靱で耐病性は強、いもち病に強い。	山間高冷地を除く暖下一円(地力が高いほ場)
	晩生	コシヒカリ	農林22号×農林1号(稲井農試、昭31)	特定期13	8/14	9/23	88.9	18.5	441	中	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	良品質、食味、耐冷性は強で、耐病性、耐病性は弱。	南部平野地帯
うるち	中生	つや姫	山形70号×東北164号(山形農研むか、平21)	特定期21	8/12	9/24	80.3	17.4	453	中	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	良品質、食味、強靱で耐病性はやや強、耐冷性は中。穂重は平均値に劣る。	南部平野地帯を中心とした平野地帯、山間高冷地帯
	中生	ヒメノモチ	大系227×こがねもち(東北農試、昭47)	特定期53	7/30	9/5	85.0	19.2	408	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	良品質。耐病性は強、いもち病に強い。耐病性はやや弱、耐冷性はやや弱。	山間高冷地帯、西部丘陵地帯
うるち	晩生	みやこがねもち(こがねもち)	准農林99号×農林17号(新潟農試中農試農地、昭33)	基幹33	8/9	9/19	94.2	17.0	390	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	粘質及び食味良好。いもち病に弱く、耐冷性はやや弱、耐病性は弱。	山間高冷地帯を除く暖下一円
	晩生	こもちまる	もむすめ×東北161号(宮城県古川農試、平24)	特定期25	8/10	9/21	84.9	18.2	361	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	粘質及び食味良好。耐病性はやや強、耐冷性は強、いもち病に強い。	北部・南部平野地帯、山間高冷地帯
うるち	中生	ゆきむすび	東北157号(はたじるし)×東810(宮城県古川農試、平19)	特定期19	7/28	9/6	78.9	17.7	480	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	早生の低アミロース米で優良食味、耐冷性は強、耐病性は強、耐病性は中。	西部丘陵地帯の高冷地の低い地、山間高冷地帯
	中生	だて正夢	東北189号(げんきまる)×東1126(宮城県古川農試、平28)	基幹28	8/6	9/16	85.5	19.2	398	中	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	白米アミロース含有率が「ひとめぼれ」と「だて正夢」の間で、優良食味、耐病性はやや強、耐冷性は強、耐病性は中。	山間高冷地帯を除く暖下一円
うるち	晩生	たきたて	奥羽248号×東北153号(宮城県古川農試、平13)	特定期13	8/6	9/17	86.7	18.6	463	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	アミロース米で優良食味、耐冷性はやや強、耐病性は強、耐病性は中。	山間高冷地帯を除く暖下一円
	晩生	金のいぶき	たきたて×北陸107号(めばえもち)(宮城県古川農試、平28)	特定期28	8/7	9/21	81.2	19.4	490	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	低アミロース巨大胚品種。玄米での食味が優れ、GABAとγ-アミノ酪氨酸含有率が多い。耐病性は強、いもち病に強い。	山間高冷地帯を除く暖下一円
うるち	中生	蔵の華	東北140号×(山田農×東北140号) F1(宮城県古川農試、平9)	基幹9	8/3	9/10	76.8	17.5	671	優	難	や	や	弱	や	弱	や	弱	や	弱	心白の発現が少ない適度好米。穂数が多く、耐病性は強、耐病性は中。	平野地帯、西部丘陵地帯の高冷地の低い地

注) 1) 調査地: 水稲優良品種改良推進班(古川農業試験場、大崎市) 施肥基準: 基肥5kg/10a、減収分要期追肥1kg/10a
2) 調査地: 水稲優良品種改良推進班(古川農業試験場、大崎市) 施肥基準: 基肥5kg/10a、減収分要期追肥1kg/10a
3) 本表の特性の分類は、平成27年1月に示された新たな審査基準(細則)によるもの。

Ⅹ 優良品種特性表 (大豆) (R2～R5)

種類	早晩	品 種 名	来 歴 (育成場所、育成年次)	採 用 年 次	優 良 品 種 区 分	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	* 主 茎 長 (cm)	分 枝 数 (本)	主 節 数 (節)	* 葉 形 有 限 有 限	* 伸 葉 有 無 及 び 色	* 花 毛 有 無 及 び 色	* 熟 莢 色	子 実										特 性 概 要	栽培適地		
															* 製 莢 性	* 百 粒 重 (g)	* 形 状	* 種 皮 色	* 10a 当 たり 収 量 (kg)	粗 た ん ぱ く 質 (%)	粗 脂 肪 (%)	全 糖 (%)	* 外 観 品 質	* ウ イ ル ス 病 害			* 立 枯 性 病 害	* 葉 斑 病 害
大豆	早 生	すずほのか ^{注2}	刈取59号×東山109号(山系)×コナズメ(農研機構, 平09) (長野県中部農試, 昭59)	平 20	特 定	8.08	10.12	60	4.2	15.2	三角 形	有 限	白	淡 紫	中	9.2	球 状	黄 白	307	45.1	17.6	22.3	中 上	中 強	や 強	大	莢長は短莢、分枝数多く、着莢数も多い。前倒伏性は強。密播適応性に並びに晩播適応性高い。ウィルス病抵抗性強。葉斑病抵抗性強。大豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 生	タンレイ	農研2号×東山109号(山系)×コナズメ(農研機構, 昭58) (長野県中部農試, 昭58)	昭 53	基 幹	7.29	11.01	68	4.0	14.6	円 形	有 限	白	紫 褐	中	30.3	楕 円 形	黄 白	309	44.1	20.2	21.7	中 上	注6 中 強	や 強	大	莢長は中莢、主莢節数、分枝数やや少ない。密播適応性は強。晩播適応性が高い。多肥条件下草丈に過剰し、密植適性に並びに晩播適応性大。立枯性病害抵抗性強。葉斑病の発生が多い。ダイズモザイク病抵抗性強。中粒で粒揃い良く品質良。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 生	あやこがね ^{注3}	東山124号(山系)×刈取59号×エンレイ(長野県中部農試, 平11) (長野県中部農試, 平11)	平 11	基 幹	7.27	10.21	91	4.3	16.5	円 形	有 限	白	褐	中	35.1	球 状	黄 白	351	45.3	19.4	21.7	中 上	中	中	中	莢長は中莢、主莢節数、分枝数ともやや少ない。前倒伏性は強。晩播適応性が高い。ウィルス病抵抗性強。葉斑病抵抗性強。大豆加工適性良好。豆脚・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 の 晩	チチナガハ	東山105号×東山109号(山系)×コナズメ(農研機構, 昭57) (長野県中部農試, 昭58)	平 8	特 定	7.29	11.09	77	3.8	15.5	長 中 間	有 限	白	紫 褐	中	37.3	楕 円 形	黄 白	282	42.3	21.1	22.1	中 上	中 強	中	中	莢長は中莢、分枝数やや少ない。ウィルス病抵抗性強。葉斑病抵抗性強。大豆加工適性良好。豆脚・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 の 晩	きぬさやか ^{注4}	刈取59号×刈取59号(山系)×コナズメ(農研機構, 平07) (長野県中部農試, 昭57)	平 18	特 定	7.25	10.16	76	4.9	15.2	円 形	有 限	白	白	中	28.5	球 状	黄 白	391	43.4	19.3	23.2	中 上	や や 強	や や 強	中	莢長は中莢、分枝数中程度。前倒伏性は強。ウィルス病抵抗性強。葉斑病抵抗性強。大豆加工適性良好。豆脚・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 の 晩	すずみのり	東山109号(山系)×東山109号(山系)×コナズメ(農研機構, 平11) (長野県中部農試, 平11)	令 4	特 定	7.29	11.04	76	4.1	15.2	三 角 形	有 限	白	紫 褐	中	36.6	楕 円 形	黄 白	369	44.5	20.0	21.8	中 上	中 強	中	中	莢長は中莢、分枝数やや少ない。ウィルス病はA～Eの5系統に抵抗性。ダイズモザイク病抵抗性強。立枯性病害抵抗性強。葉斑病抵抗性強。大豆加工適性良好。豆脚・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	晩 生	ミヤギシロメ	岩沼系種の系統分離 (岩沼農試, 昭58)	昭 36	基 幹	8.02	11.13	95	5.0	16.5	円 形	有 限	白	淡 紫	中	43.1	や や 楕 円 形	黄 白	319	42.6	19.4	24.0	中 上	小 強	小	小	莢長は長莢、初期生育旺盛。分枝数やや少ないが開花性、本葉大きく受容体勢不良で晩化・倒伏しやす。葉斑病抵抗性強。立枯性病害・ダイズモザイク病抵抗性強。大豆加工適性良好。	県下平野地帯

注1) 特性表のデータは、過去4か年(令和2年～令和5年)の優良(奨励)品種決定調査結果の平均値。
注2) 「*」印を付した項目は「すずみのり」以外に「だいにずみ」品種特性分類(農林水産省)、「すずみのり」は「ダイズ」品種特性調査マニユアル(農研機構品種管理センター)の表記に基づく。
注3) 「すずほのか」は、平成16～19年(6月下旬播きの晩播栽培)のデータ。
注4) 「あやこがね」は、平成25～29年のみのデータ。
注5) 「きぬさやか」は、平成27年のみのデータ。
注6) 「タンレイ」の葉斑病抵抗性は「だいにずみ」品種特性分類(農林水産省)では「中」だが、県内発病程度を考慮し「やや弱」としている。

Ⅹ I 優良品種特性表 (麦類)

(供試年次: 令和元～令和5年)

イ 小麦

早晩性	品種名	採用品種区分	品名 (育成場所、育成年)	出穂期 月日	成熟期 月日	穂長 (cm)	穂当たり穂数	* 穂の長短	* 株の閉鎖性	* 穂脱粒性	* 秋播性程度	原麦				品質(60%粉)				諸抵抗性				概要			
												千粒重 (g)	容積重 (g/L)	10a 当り収量 (kg)	粗蛋白含有率 (%)	灰分 (%)	色相	外観	外観	外観	外観	* うさびどろ病	* さび病		* 赤かび病	* 凍上芽病	* 耐倒伏性
早生	あおはの恋	特定	(関東105号×Veery's) × 西海171号 (農業研究ナカ、平20)	4.27	6.16	74	486	や	中	中	Ⅱ	42.8	836	497	10.1	0.71	80	中	中	や	や	や	や	—	—	中	早生。中稈で耐倒伏性中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製粉適性が優れる。
中生の早	シラネコムギ	基幹	北陸49号 × 東海80号 (長野農試、昭61)	5.1	6.18	79	419	中	中	中	Ⅳ	42.6	838	528	9.9	0.53	81	中	中	や	や	中	中	強	強	強	中稈・強稈で草型も良く、耐寒雪性は強、穂発芽性は強、加工適性が高く、用途粉として食味も良好である。
中生の早	夏黄金	基幹	((関東123号 × 東北214号) × (関東123号 × 東北209号)) × もち盛系C-3170a (東北農研ナカ、平28)	5.2	6.18	77	462	極	中	中	Ⅴ	40.6	843	510	10.2	0.44	83	中	中	や	や	中	中	強	強	中	中稈・強稈で耐倒伏性は強。凍上芽抵抗性は強。製パン適性が高く、中華種にも適する。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(令和元～令和5年) *印の特性は「小麦品種特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質 (60%粉) のデータは、令和5年度の調査結果による。

ロ 大麦

早晩性	品種名	採用品種区分	品名 (育成場所、育成年)	出穂期 月日	成熟期 月日	穂長 (cm)	穂当たり穂数	* 穂の長短	* 株の閉鎖性	* 穂脱粒性	* 秋播性程度	原麦				品質				諸抵抗性				概要			
												千粒重 (g)	容積重 (g/L)	10a 当り収量 (kg)	硝子率 (%)	55% 搗精白度	外観	外観	外観	外観	* うさびどろ病	* さび病	* 赤かび病		* 凍上芽病	* 耐倒伏性	* 耐雪性
早生	シェンライ	基幹	シノダキ × 東山皮68号 (長野農試、平2)	4.21	6.2	92	483	や	中	中	Ⅰ	37.8	691	577	42.2	47.2	37	中	中	や	や	強	強	強	強	中	中稈・強稈で草型も良く耐倒伏性強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性は中。
中生の早	ホワイトフアイバー	特定	東山系種437号 × 東山皮96号 (長野農試、平27)	4.22	6.4	92	486	長	中	中	Ⅰ	36.9	690	595	19.5	49.7	34	中	中	や	や	中	中	強	強	強	中稈で耐倒伏性はやや強。赤かび病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は強、もち性。
中生	ミナリコムギ	基幹	東山皮1号 × コクソダキ (長野農試、昭44)	4.25	6.5	102	512	長	中	中	Ⅳ	36.8	700	639	42.1	48.6	35	中	中	中	中	中	中	強	強	強	多収、長稈で赤かびや雪腐き、耐倒伏性はやや強。耐寒性は中。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(令和元～令和5年、ただし「ホワイトフアイバー」は平成29年、令和2～5年)、*印の特性は「大麦品種特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質の秋飯白度のデータは平成26～30年度の調査結果による。

XII 水稻優良品種の年次別作付面積

(面積:ha)

年次 品種	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		
		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B	
うるち	やまのしづく	30	0.1%	0.1%	34	0.1%	0.1%	36	0.1%	0.1%	8	0.01%	0.014%	32	0.1%	0.1%	4	0.01%	0.01%
	ササニシキ	3,534	6.4%	6.2%	3,447	6.1%	5.9%	3,479	6.0%	5.9%	3,933	6.8%	6.7%	3,872	7.0%	6.8%	4,266	7.7%	7.6%
	ひとめぼれ	42,218	76.2%	73.7%	43,887	77.1%	75.0%	43,988	75.8%	74.0%	42,509	73.7%	71.9%	40,189	72.8%	71.0%	38,805	70.4%	68.7%
	まなむすめ	2,831	5.1%	4.9%	2,532	4.4%	4.3%	2,941	5.1%	4.9%	2,895	5.0%	4.9%	3,246	5.9%	5.7%	3,425	6.2%	6.1%
	だて正夢	287	0.5%	0.5%	608	1.1%	1.0%	841	1.4%	1.4%	860	1.5%	1.5%	663	1.2%	1.2%	741	1.3%	1.3%
	げんきまる	1,050	1.9%	1.8%	983	1.7%	1.7%	1,046	1.8%	1.8%	1,105	1.9%	1.9%	1,032	1.9%	1.8%	1,190	2.2%	2.1%
	トヨニシキ	123	0.2%	0.2%	114	0.2%	0.2%	102	0.2%	0.2%	122	0.2%	0.2%	42	0.1%	0.1%	41	0.1%	0.1%
	コンヒカリ	615	1.1%	1.1%	573	1.0%	1.0%	580	1.0%	1.0%	543	0.9%	0.9%	464	0.8%	0.8%	425	0.8%	0.8%
	つや姫	3,986	7.2%	7.0%	4,085	7.2%	7.0%	4,378	7.5%	7.4%	5,008	8.7%	8.5%	4,966	9.0%	8.8%	5,257	9.5%	9.3%
	東北194号	278	0.5%	0.5%	232	0.4%	0.4%	220	0.4%	0.4%	251	0.4%	0.4%	178	0.3%	0.3%	194	0.4%	0.3%
もち	蔵の華	148	0.3%	0.3%	153	0.3%	0.3%	172	0.3%	0.3%	162	0.3%	0.3%	103	0.2%	0.2%	120	0.2%	0.2%
	ゆきむすび	58	0.1%	0.1%	61	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	71	0.1%	0.1%	79	0.1%	0.1%
	たきたて	0	0.0%	0.0%	37	0.1%	0.1%	35	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	金のいぶき	235	0.4%	0.4%	156	0.3%	0.3%	117	0.2%	0.2%	212	0.4%	0.4%	349	0.6%	0.6%	567	1.0%	1.0%
	その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	計	55,390	100%	96.7%	56,902	100%	97.2%	57,994	100%	97.6%	57,701	100%	97.6%	55,205	100%	97.6%	55,110	100%	97.6%
ヒメモチ	49	2.6%	0.1%	53	3.2%	0.1%	22	1.5%	0.0%	30	2.1%	0.0%	18	1.3%	0.0%	14	1.0%	0.02%	
みやこがねもち	1,832	96.4%	3.2%	1,577	95.8%	2.7%	1,412	97.5%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%	1,330	97.9%	2.4%	1,331	98.0%	2.4%	
こもちまる	20	1.0%	0.0%	16	1.0%	0.0%	15	1.0%	0.0%	16	1.2%	0.0%	11	0.8%	0.0%	14	1.0%	0.02%	
計	1,900	100%	3.3%	1,645	100%	2.8%	1,448	100%	2.4%	1,389	100%	2.4%	1,359	100%	2.4%	1,358	100%	2.4%	
合計	57,289	—	100%	58,547	—	100%	59,442	—	100%	59,090	—	100%	56,564	—	100%	56,468	—	100%	

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、種子供給量(公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部)を面積換算(4kg/10a)した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

ⅩⅢ 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積: ha, 割合: %)

年次 品種	平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産			
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)		
大豆	ミヤギンロメ	4,665	43.6%	5,137	46.7%	5,076	47.0%	5,556	50.5%	5,984	50.3%	6,049	51.7%	
	タンレイ	2,622	24.5%	2,640	24.0%	2,700	25.0%	2,288	20.8%	2,289	19.2%	2,036	17.4%	
	タチナガハ	2,825	26.4%	2,695	24.5%	2,462	22.8%	2,607	23.7%	3,084	25.9%	3,112	26.6%	
	あやこがね	235	2.2%	198	1.8%	199	1.8%	153	1.4%	135	1.1%	129	1.1%	
	きぬさやか	96	0.9%	77	0.7%	113	1.0%	102	0.9%	107	0.9%	107	0.9%	
	すずほのか	139	1.3%	110	1.0%	110	1.0%	99	0.9%	106	0.9%	94	0.8%	
	すずみのり												35	0.3%
	その他	118	1.1%	143	1.3%	140	1.3%	195	1.8%	195	1.6%	164	1.4%	
	合計	10,700	100%	11,000	100%	10,800	100%	11,000	100%	11,900	100%	11,700	100%	

注1) 作付面積は農林水産省作物統計資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

XIV 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha,割合:%)

年次 品 種	項 目	平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度			
		作付面積		作付割合		作付面積		作付割合		作付面積		作付割合		作付面積		作付割合		作付面積		作付割合		作付面積		作付割合	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
大 麦	ミノルムギ	336	28.7%	14.8%	290	25.0%	12.7%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.5%	295	20.9%	12.3%	262	18.1%	10.0%						
	シュンライ	814	69.6%	35.9%	660	56.9%	28.8%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.1%	495	35.1%	20.6%	505	34.8%	19.3%						
	ホワイトファイバー	—	—	—	179	15.4%	7.8%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.0%	569	40.4%	23.7%	648	44.7%	24.8%						
	その他	20	1.7%	0.9%	31	2.7%	1.4%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%	51	3.6%	2.1%	36	2.5%	1.4%						
	計	1,170	100%	51.5%	1,160	100%	50.7%	1,160	100%	51.3%	1,280	100%	53.6%	1,410	100%	58.7%	1,450	100%	55.6%						
小 麦	シラネコムギ	613	55.7%	27.0%	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	582	52.4%	24.4%	476	47.9%	19.8%	571	49.2%	21.9%						
	夏黄金	—	—	—	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	406	36.6%	17.0%	435	43.8%	18.1%	500	43.1%	19.2%						
	あおばの恋	132	12.0%	5.8%	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	105	9.5%	4.4%	64	6.4%	2.7%	63	5.4%	2.4%						
	その他	33	3.0%	1.5%	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	17	1.5%	0.7%	19	1.9%	0.8%	27	2.3%	1.0%						
	計	1,100	100%	48.5%	1,130	100%	49.3%	1,110	100%	48.7%	1,110	100%	46.4%	994	100%	41.3%	1,160	100%	44.4%						
合 計	2,270	100%	100%	2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,390	100%	100%	2,404	100%	100%	2,610	100%	100%							

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、農林水産省「作物統計」(面積)とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率(品種状況調査)を基に算出。

製麺適性評価試験 試験方法

製麺方法

- 製麺装置
 - ・ミキサー : (株)大和製作所 小天狗 回転速度 60rpm
 - ・製麺機 : ヒグチ麵機製作所 □ロール径 120mm □ロール幅 210mm
- 環境条件
 - ・室温 20℃
- 原料配合(基準)
 - ・小麦粉 1000g 【小麦粉対比 100%】
 - ・水(25℃) 380g 【小麦粉対比 38%】
 - ・食塩 20g 【小麦粉対比 2%】
- ミキシング条件
 - ・製麺装置の横型ミキサーを使用 回転速度 60rpm ミキシング時間 10分
- 製麺条件
 - ・製麺装置の製麺機を使用
 - ・荒延ベ(そばろから麺帯を作成) 1回 □ロール間隙 1.5mm
 - ・複合(麺帯を重ねて1枚の麺帯にする) 2回 □ロール間隙 1.5mm → 2.3mm
 - ・生地のおかし 60分
 - ・複合(麺帯を重ねて1枚の麺帯にする) 1回 □ロール間隙 2.6mm
 - ・生地のおかし 30分
 - ・圧延(麺帯を徐々に薄くのばす) 1回 □ロール間隙 2.5mm
 - ・切断(麺帯を麺線に切断する) 切り刃 角8番 切断幅 3.8mm
 - ・最終麺帯厚 2.5mm
 - ・麺線の長さ 330mm

色の評価

- ・麺帯の画像の取り込み(製麺時の麺帯の一部を、スキャナで取り込む)
(作成した麺帯の画像を取り込む ①0時間後 ②24時間後【常温保存】 ③24時間後【5℃保存】の3点)

試食官能評価

- ゆで方法
 - ・茹で装置 : アルミニウム製鍋 ※pH調整剤は不使用
 - ・茹で時間 : 20分 ※標準品種(さとのそら)のゆで時間を20分とする。
なお、その他試料に関しては、それぞれ適すると思われるゆで時間に調整する。
 - ・パネリスト数 : 11人
- 試食条件
 - ・製麺後24時間冷蔵保存した麺を、上記方法にてゆで麺にし、冷水で冷却してから試食
- 評価に関して
 - ・評価① 主観的な「良いか? 悪いか」の評価 (結果は試験官能評価①に記載)
 - ・評価② 食感に関してコントロールと比較した「強い? 弱い?」の評価 (結果は試験官能評価②に記載)

製麺適性評価試験 作業性評価

試料			評価項目			
			水の入り (標準との比較)	繋がり具合 (標準との比較)	べたつき (標準との比較)	その他
めん 1	宮城	東北238号	同じくらい	わずかに良い	同じくらい	粘りが多少あるが、しっかりした麺帯となった
めん 2	宮城	シラネコムギ	わずかに多い	同じくらい	すこし少ない	そばろと麺帯が多少乾いた様に感じるが、つながりに問題はない
めん 3	宮城	あおばの恋	わずかに多い	同じくらい	わずかに少ない	多少、ホロホロ(粘り気が少ない)とした感じの麺帯だが、つながりに問題はない
めん 4	宮城	東山63号	わずかに多い	わずかに悪い	すこし少ない	多少弱めで切れやすい生地だが、複合することでしっかりとした麺帯になる
めん 15	共通標準	さとのそら	-	-	-	-
めん 16	共通標準	ASW	わずかに少ない	すこし良い	わずかに少ない	適度なそばろとつながりのよい生地で、製麺性が高い

※【水の入り】は、ミキシング時のそばろ、複合後の生地の状態から判断した

製麺適性評価試験 試食官能評価①

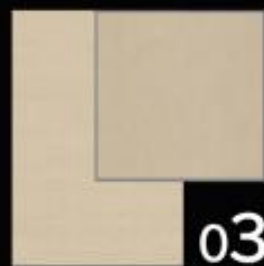
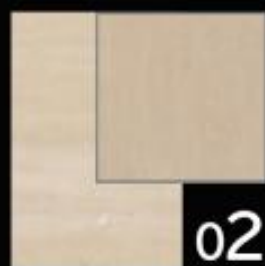
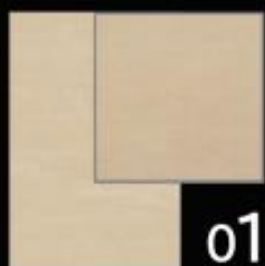
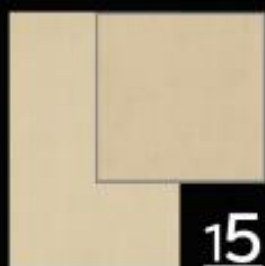
【評価点数】

試料			ゆで時間 (分)	色	外観 肌荒れ	かたさ	食感 粘弾性	なめらかさ	食味 香り・味	合計	総合評価
めん 1	宮城	東北238号	20分	9.8	10.4	7.3	17.5	11.5	10.9	67.3	72.7
めん 2	宮城	シラネコムギ	20分	10.2	8.5	5.9	14.6	8.7	9.1	57.0	57.3
めん 3	宮城	あおばの恋	20分	12.0	10.9	7.3	18.0	11.3	10.6	70.1	70.9
めん 4	宮城	東山63号	20分	12.9	10.5	7.3	18.6	11.3	9.8	70.5	74.6
めん 15	共通標準	さとのそら	20分	14.0	10.5	7.0	17.5	10.5	10.5	70.0	70.0
めん 16	共通標準	ASW	20分	18.4	13.0	7.4	18.9	12.0	10.8	80.3	79.1

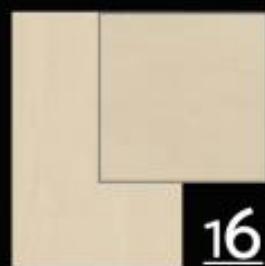
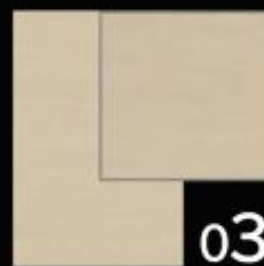
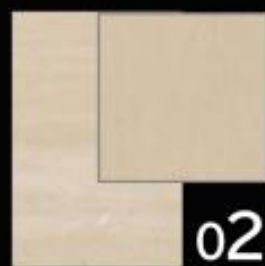
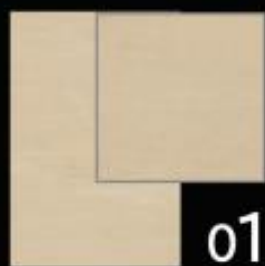
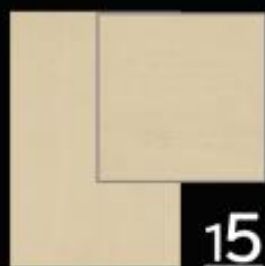
製麺適性評価試験 試食官能評価②

【評価した人数の%】

試料			項目	弱い			同じ	強い		
				かなり	すこし	わずかに		わずかに	すこし	かなり
めん 1	宮城	東北238号	かたさ			36.36		45.45	18.18	
			粘弾性		9.09	9.09	36.36	27.27	18.18	
			なめらかさ				27.27	54.55	18.18	
めん 2	宮城	シラネコムギ	かたさ		9.09			54.55	18.18	18.18
			粘弾性		9.09	27.27	18.18	27.27	9.09	9.09
			なめらかさ	18.18	9.09	36.36	27.27	9.09		
めん 3	宮城	あおぼの恋	かたさ		9.09	18.18	36.36	27.27	9.09	
			粘弾性		18.18	9.09	18.18	45.45	9.09	
			なめらかさ			9.09	45.45	36.36	9.09	
めん 4	宮城	東山63号	かたさ			18.18	18.18	36.36	27.27	
			粘弾性			9.09	18.18	45.45	27.27	
			なめらかさ			18.18	27.27	45.45	9.09	
めん 15	共通標準	さとのそら	かたさ				100.00			
			粘弾性				100.00			
			なめらかさ				100.00			
めん 16	共通標準	ASW	かたさ	9.09	9.09	36.36	36.36	9.09		
			粘弾性				18.18	54.55	27.27	
			なめらかさ				27.27	27.27	36.36	9.09



20°C 24時間保存



5°C 24時間保存



令和5年度

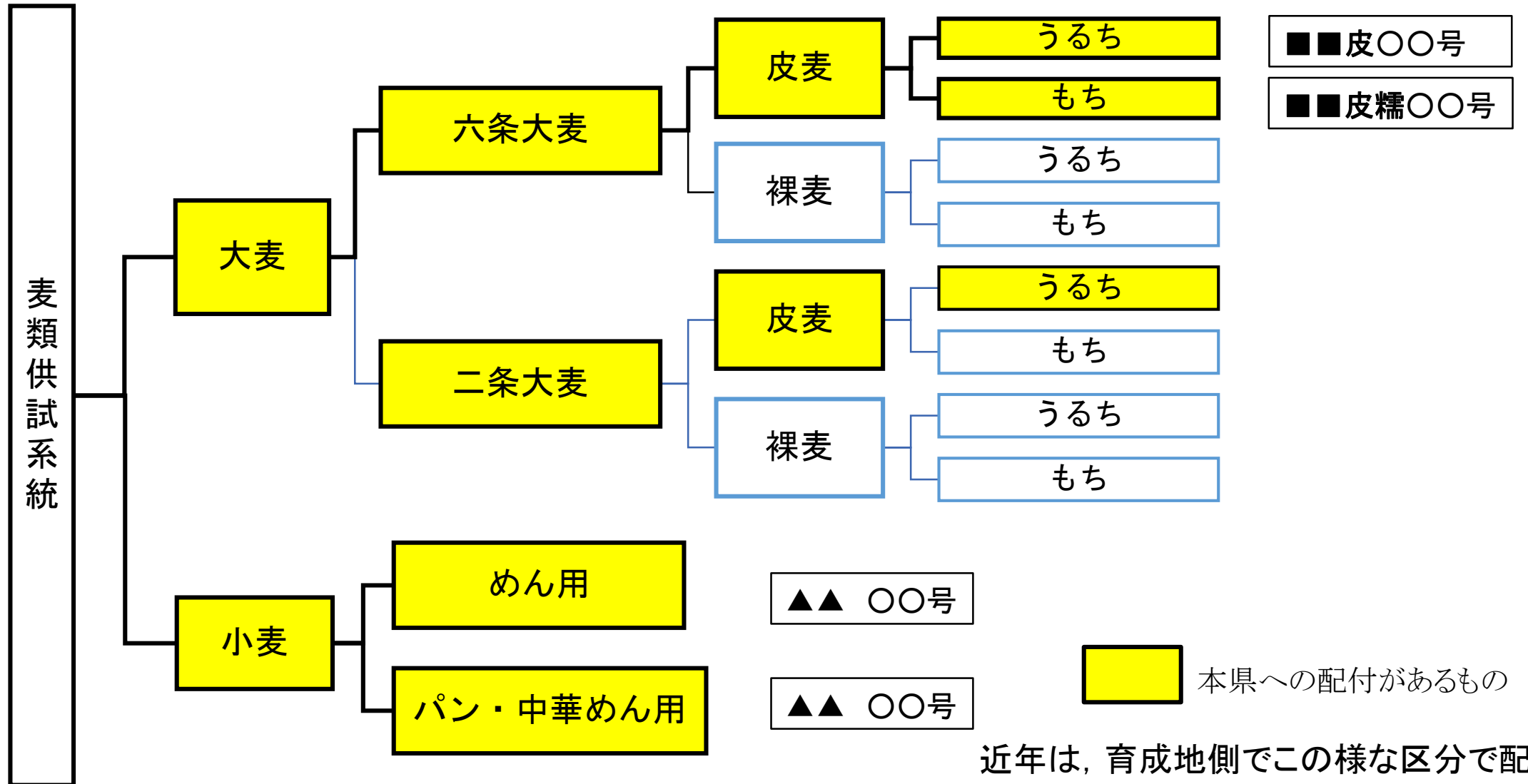
麦類優良品種決定調査結果

古川農業試験場

令和6年9月18日



麦類供試系統の大まかな分類



本県に供試を行なっている主な育成地

小麦	六条大麦	育成地名称	略称	所在地
東北	-	農研機構 東北農業研究センター	東北農研	岩手県盛岡市
東山	東山皮	長野県農業試験場	長野県農試	長野県須坂市
-	北陸皮	農研機構 中日本農業研究センター 上越研究拠点	中日本農研 上越	新潟県上越市

注1) 農研機構は通称。正式名称は国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構。

供試系統の有望度説明

記号	有望度	意味	次年度調査の種子配付希望	育成地側の対応
◎	ごく有望	優良品種候補とする(品種審査会に諮る)	しない	配布中止(採用後は調査終了となるので)。
○	有望	優良品種として期待出来るのでその前提で調査を継続	する	次年度も配付を継続する。
△	再検討	多少見込みがあるのでもう少し調査を継続する	する	〃
×	打ち切り(廃棄)	(全く見込みが無いので)調査終了	しない	配布中止。他県で○△が無い限り種子も廃棄。
※	中止	特性を把握したので調査終了(良い系統の様だが本県に入る余地が無い)	しない	本県への配付は中止するが他県で希望するところへの配付は引き続き継続。

注) なお、育成地の都合で配付が中止・終了となることもよくある。

令和5年度大麦供試系統

種類	用途	予備調査		本調査		現地調査	
			有望度		有望度		有望度
六条大麦	うるち	-		北陸皮72号(2) 北陸皮78号(1)	× △	北陸皮78号(1)	△~ ×
		-		(標)シュンライ (比)ミノリムギ		(標)シュンライ (比)ミノリムギ	
	もち	東山皮糯122号 北陸皮糯81号	× △	東山皮糯120号(2) 東山皮糯121号(1)	× △	-	
		(標)ホワイトファイバー		(標)ホワイトファイバー		-	
二条大麦	醸造	東北二条51号	△				
		(標)小春二条					

注1) 表中 系統名右の () 内は本調査及び現地調査供試年数

注2) 表中 (標) は標準品種、(比) は比較品種を表す。標準品種：原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象となる品種。比較品種：特定の形質を比較するための品種

大麦(うるち)系統成績一覽

○要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の碎粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

供試系統	供試 年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)			容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概 評	
										シュンライ	ミノリムギ	ホワイト ファイバー							長所	短所
北陸皮72号	本2 予1	4.17	5.29	86.5	4.8	452	0.0	0.0	59.1	151	151	-	675	36.4	2.0	43.2	51.2	×	収量が優る →打ち切り	硝子率が高い
北陸皮78号	本1 予1	4.17	5.30	92.1	4.3	435	0.0	0.0	61.8	158	158	-	647	37.3	2.0	8.3	52.2	△	収量が優る 硝子率が低い →年次変動確認のため再検討	
(標)シュンライ		4.16	5.28	84.0	4.0	561	0.0	0.0	39.2	100	100	-	657	33.9	2.5	22.5	49.8			
(比)ミノリムギ		4.19	5.30	97.9	4.2	540	1.0	0.0	39.2	100	100	-	672	33.8	4.0	29.3	54.9			

注1) 倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注2) 赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注3) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

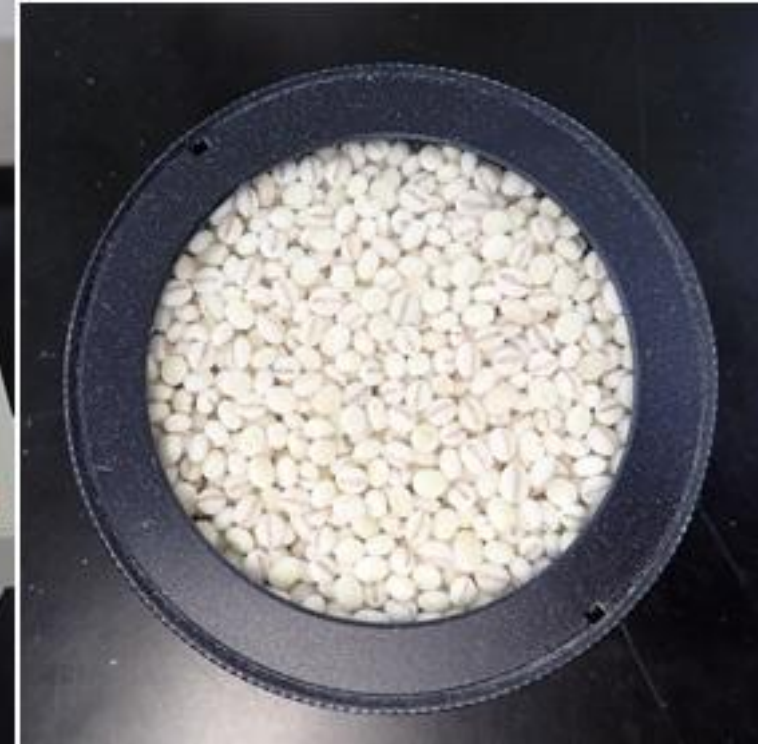
硝子率

玄麦の横断面から判断できる硝子質粒、半硝子質粒、粉状質粒の割合。低い方が望ましい。



精麦白度

精麦の表面の白さ。値が大きいほど白く、白度が高いものが望まれる。



出典: みんなの農業広場 農作業便利帖 麦・大豆 麦編 ランク区分 オオムギ

<https://www.jeinou.com/benri/wheat/2011/01/140935.html>

大麦(もち)系統成績一覽

○要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の碎粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

供試系統	供試年数	出穂期(月・日)	成熟期(月・日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重対照比(%)			容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	硝子率(%)	精麦白度	有望度	概評	
										シュンライ	ミノリムギ	ホワイトファイバー							長所	短所
東山皮糯120号	本2 予1	4.15	5.28	93.3	4.2	522	0.0	0.0	45.6	-	-	88	684	33.7	3.0	14.5	49.4	×		収量が劣る。
東山皮糯121号	本1 予1	4.19	5.30	95.8	4.2	543	0.0	0.0	60.2	-	-	116	678	34.1	2.0	11.5	49.4	△		→打ち切り 収量が優る。
東山皮糯122号 (篩目2.0mm上)	予1	4.18	5.30	92.4	4.2	530	0.0	0.0	25.5	-	-	38	650	29.5	5.0	10.3	42.2	×		→打ち切り 収量が劣る。 出芽がやや悪い。 外観が悪い。
北陸皮糯81号	予1	4.18	5.29	88.0	3.8	570	0.0	0.0	49.8	-	-	96	653	33.4	3.0	6.2	53.0	△		硝子率が低く、 白度も高い。 →年次変動確認のため再検討。
(標)ホワイトファイバー		4.16	5.28	89.3	4.3	482	0.0	0.0	52.0	-	-	100	671	32.8	2.0	13.5	49.4			
(標)ホワイトファイバー (篩目2.0mm上)									67.4	-	-	-	665	30.9						

注1) 倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注2) 赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注3) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

大麦(醸造)系統成績一覽

○要望される品種

ミノリムギ、シュンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の碎粒が少ないもの。また、機能性や特定用途への加工適性が高く、実需からの要望を満たすもの。

供試系統	供試	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	赤かび	子実重	子実重 対照比(%)	容積重	千粒重	外観	有望	概 評	
	年数	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/m ²)	程度	病	(kg/a)	小春二条	(g/L)	(g)	品質	度	長所	短所
東北二条51号	予1	4.21	5.31	81.7	5.1	418	0.0	0.0	70.0	104	729	48.4	3.0	△	千粒重、容積重が大きい	外観に色ムラがある
(標)小春二条		4.22	5.31	84.3	5.2	457	1.0	0.0	67.3	100	709	43.2	2.0		→年次変動確認のため再検討	

注1) 倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注2) 赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注3) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

現地調査における系統の有望度

系統名	担当普及センター	有望度	判定理由
大麦「北陸皮78号」	大河原	×	収量はシュンライに優ったが、品質が劣る。成熟期がシュンライより遅いため、大麦-大豆2毛作体系においてはシュンライが優る。
	石巻	△	成熟期はミノリムギに比べ2日遅い。対照品種に比べ、耐倒伏性や搗精時間・硝子率は優れていたが、収量や外観品質、精麦白度で劣っている。 今年産は一般大麦でも粒張りが悪く平年並みの作柄ではないため、複数年度での結果をもとに検討すべきと判断した。

令和5年度小麦供試系統

用途	予備調査	有望度	本調査	有望度	現地調査	有望度
めん	東山64号	△	東北238号(3) 東山63号(1)	※ ○	東北238号(3)	○
	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋		(標)シラネコムギ (比)あおばの恋		(標)シラネコムギ	
パン・ 中華めん	東山62号	△	-		-	
	(標)夏黄金		-		-	

注1) 表中 系統名右の () 内は本調査及び現地調査供試年数

注2) 表中 (標) は標準品種、(比) は比較品種を表す。標準品種：原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象となる品種。比較品種：特定の形質を比較するための品種

小麦(めん)系統成績一覽

○要望される品種

シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 (%)	有望 度	概 評	
										シラネ	夏黄金						長所	短所
東北238号	本3 予1	4.26	6.15	75.1	9.0	399	0.0	0.0	66.6	114	-	847	44.0	3.0	11.1	※	収量が優る。 縞萎縮病への抵抗性(現地 データ) →中止	
東山63号	本1 予1	4.22	6.12	71.2	8.7	518	0.0	0.0	64.7	111	-	855	51.1	2.0	10.1	○	出穂期、成熟期が4日早い。 収量が優る。 外観が良い →縞萎縮抵抗性が強で有望視	
東山64号	予1	4.25	6.15	67.8	8.1	377	0.0	0.0	60.1	103	-	846	45.6	3.0	12.5	△	出穂期、成熟期が1日早い。 →年次変動確認のため再検討	
(標)シラネコムギ		4.26	6.16	77.5	7.0	443	0.0	0.0	58.2	100	-	857	46.0	3.0	12.5			
(比)あおばの恋		4.19	6.10	73.5	7.5	560	0.0	0.0	61.2	105	-	855	43.3	3.0	11.3			

注1) 倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注2) 赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注3) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

実需者による令和5年産製めん試験結果

製麺適性評価試験 試食官能評価①

試料			ゆで時間 (分)	色	外観 肌荒れ	かたさ	食感 粘弾性	なめらかさ	食味 香り・味	合計	総合評価
めん 1	宮城	東北238号	20分	9.8	10.4	7.3	17.5	11.5	10.9	67.3	72.7
めん 2	宮城	シラネコムギ	20分	10.2	8.5	5.9	14.6	8.7	9.1	57.0	57.3
めん 3	宮城	あおばの恋	20分	12.0	10.9	7.3	18.0	11.3	10.6	70.1	70.9
めん 4	宮城	東山63号	20分	12.9	10.5	7.3	18.6	11.3	9.8	70.5	74.6
めん 15	共通標準	さとのそら	20分	14.0	10.5	7.0	17.5	10.5	10.5	70.0	70.0
めん 16	共通標準	ASW	20分	18.4	13.0	7.4	18.9	12.0	10.8	80.3	79.1

さとのそら: 主に関東地域で栽培されている小麦で、製めん試験の標準品種

ASW: オーストラリア産スタンダードホワイト めん用に最も使用されている小麦で製麺試験の標準品種

小麦(中華めん・パン)系統成績一覽

○要望される品種

夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

供試系統	供試年数	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	赤かび 病	子実重 (kg/a)	子実重対照比(%)		容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	蛋白質 (%)	有望 度	概評	
										シラネ	夏黄金						長所	短所
東山62号	予1	4.25	6.14	79.9	7.2	572	0.0	0.0	57.0	-	117	863	43.1	3.0	15.1	△	出穂期は1日早い 成熟期が2日早い。 収量が優る。	
(標)夏黄金		4.26	6.16	73.6	8.1	459	0.0	0.0	48.6	-	100	856	43.1	2.0	15.8		→年次変動確認のため再検討	

注1) 倒伏程度 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注2) 赤かび病の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注3) 外観品質 1:上の上、2:上の下、3:中の上、4:中の中、5:中の下、6:下

令和6年度 麦類優良品種決定調査に供する 品種について(案)



宮城県

令和6年9月18日

令和6年度大麦供試系統・品種

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
六条大麦	うるち	東山皮123号 北陸皮79号	北陸皮78号(2)	-
		(標)シュンライ (比)ミノリムギ	(標)シュンライ (比)ミノリムギ	-
	もち		東山皮糯121号(2) 北陸皮糯81号(1)	東山皮糯121号(1)
			(標)ホワイトファイバー	(標)ホワイトファイバー
二条大麦	醸造		東北二条51号(1)	
			(標)小春二条	

注1)表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数

注2)表中(標)は標準品種、(比)は比較品種を表す。標準品種:原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象となる品種。比較品種:特定の形質を比較するための品種

大麦供試系統 — 精麦用(うるち種)

- 本調査

1. 北陸皮78号

低硝子率、大粒

予備調査

1. 北陸皮79号

低硝子率、大粒、実需からの評価が良い

2. 東山皮123号

ポストシュンライ、多収、低硝子率

大麦供試系統 — 醸造用

- 本調査

1. 東北二条51号

縞萎縮病に強く、小春二条より多収

大麦供試系統 — 精麦用(もち種)

- 本調査及び現地調査

1. 東山皮糯121号

ホワイトファイバーの改良版、硝子率はやや低く、白度が高い

2. 北陸皮糯81号

白度が高く、空洞麦率は低い

令和6年度小麦供試系統・品種

用途	予備調査	本調査	現地調査
めん	東北241号	東山63号(2) 東山64号(1)	東山63号(1)
	(標)シラネコムギ	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋	(標)シラネコムギ
パン・ 中華めん	—	東山62号(1)	—
	—	(標)夏黄金	—

注1)表中 系統名右の()内は本調査及び現地調査供試年数

注2)表中(標)は標準品種、(比)は比較品種を表す。標準品種:原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象となる品種。比較品種:特定の形質を比較するための品種

小麦供試系統 — めん用

- 本調査及び現地調査

1. 東山63号

やや多収、外観品質が優れる、低アミロース

2. 東山64号

耐寒性「強」、耐雪性「やや強」、低アミロース

- 予備調査

東北241号

製粉性に優れる、通常アミロース系統

小麦供試系統 — パン・中華めん用

- 本調査

東山62号

縞萎縮病に強く、製粉性に優れる

現地調査における系統の有望度

系統名	担当普及センター	有望度	判定理由
小麦「東北238号」	美里	○	出穂期・成熟期はシラネコムギより1日早い。シラネコムギより穂数は少ないが、穂長が長く千粒重が優り、収量は優った。外観品質は同等。総合的に有望と判断したが、縞萎縮病発生条件での比較のため、耐病性の差が大きく影響したと考えられる。
	登米	○	越冬前後の生育はシラネコムギよりもやや良好であった。生育ステージは幼穂形成期はシラネコムギよりもやや早かったが、出穂期は同程度となった。両品種とも倒伏程度が大きかったが、外観品質はシラネコムギと同程度、精子実重、千粒重は上回ることから有望と判断した。

1 優良品種として要望される品種（水稻）

気候変動に対応し、いもち病等の病害虫に強く、高温登熟性・耐冷性・耐倒伏性に優れた以下の特性を有する品種

- イ 既存の優良品種を上回る特性を持ち、主力となりうる品種
 - (イ) 極良質・極良食味で他県の銘柄に対抗する品種
 - (ロ) 「コシヒカリ」、「つや姫」以降の熟期で、極良質・極良食味の晩生品種
 - (ハ) 既存の優良品種に、生産者・消費者・実需者等のニーズに適応する望ましい特性を付与した品種
- ロ 中食・外食等の業務用ニーズに対応する品種
 - (イ) 業務用に対応する品質・食味を持ち、収量性に優れた品種
 - (ロ) チルド加工適性の高い低アミロース品種
 - (ハ) 大量調理に適した優れた炊飯適性を持つ品種
- ハ 新たな需要を創出する品種
 - (イ) 輸出を前提とした低コスト栽培及び収量性に極めて優れる品種
 - (ロ) 米粉用、酒造用、健康・機能性市場対応など実需者からの要望があり、特定需要が見込まれる品種

2 令和６年度供試品種及び系統

種類	早晩性	基本調査				現地調査
		予備調査		本調査		
		品種・系統名	要望される品種	品種・系統名	要望される品種	
うるち	早生	奥羽451号 (対)やまのしずく (比)あきたこまち	ロ-(イ)	山形160号 (1) (対)やまのしずく (比)あきたこまち	ロ-(イ)	山形160号 (1) (対)やまのしずく
	中生	岩手159号 東北245号 東北246号 秋田135号 山形165号 奥羽454号 (対)ひとめぼれ (比)げんきまる	ロ-(イ) イ-(ハ) イ-(イ) ロ-(イ) イ-(イ) ロ-(イ)	東北233号 (4) 福島64号 (3) 東北241号 (2) 東北243号 (1) 秋田133号 (1) (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ (比)げんきまる	イ-(イ) イ-(イ) イ-(イ) イ-(ハ) ロ-(イ)	東北233号 (4) 福島64号 (3) 東北241号 (2) 東北243号 (1) 秋田133号 (1) (対)ひとめぼれ
	晩生	山形158号 福島66号 (対)つや姫 (比)コシヒカリ	イ-(ロ) イ-(ロ)	東北238号 (3) 越南311号 (1) (対)つや姫 (比)コシヒカリ	イ-(ロ) イ-(ロ)	東北238号 (3) 越南311号 (1) (対)つや姫
新形質米	低アミロース			東北239号 (3) (対)だて正夢 (比)つや姫	イ-(ロ)、ロ-(ロ)	東北239号 (3) (対)だて正夢 (比)つや姫
計		9		9		9

注1 (対)、(比)はそれぞれ対照品種、比較品種。
 注2 本調査及び現地調査の()内の数字は当該調査への供試年数。